

研究協力に関するご依頼について

熊本県立大学環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻食品分析学研究室での研究の一環として、（研究参加同意者氏名）様から研究参加の同意を得て、研究を実施いたします。

以下の研究概要をお読みいただき、保護者様の立場から（研究参加同意者氏名）様の研究参加の取り止めを希望する場合には、研究責任者までお申し出ください。ご連絡をいただいた場合には研究対象者として取り止めます。なお、研究参加を取り止めることにより不利益が生じることは一切ありません。

【研究課題】

天然だしのストレス低減効果の検証

【ご確認いただきたいこと】

1. 目的

本研究では天然だしのストレス低減効果について検証します。天然だしを喫食する前後に、血圧を測定するとともに唾液を採取し、唾液アミラーゼ活性および唾液中のクロモグラニン（CgA）濃度を測定することで、交感神経活動によるストレス評価を行います。また、質問紙を用いて気分や感情の評価を評価します。これらの測定をもとに、天然だしのストレス低減効果の有無を検討します。

2. 研究期間

生命倫理審査委員会承認後～令和6年3月31日

3. 測定項目

①自律神経活動

- ・唾液アミラーゼ活性：身体的ストレスや情動の変化を評価します。測定には唾液アミラーゼ活性測定用のチップの先端を口に入れてもらい唾液を採取します（唾液アミラーゼモニター、ニプロ）。
- ・唾液CgA濃度：精神的ストレスの変化を評価します。マイクロチューブに唾液を採取してもらいます。採取したアミラーゼ活性測定時に採取した研究対象者の唾液を用いてクロモグラニン濃度を測定します。
- ・心拍変動：心拍変動計を用いて、心拍数、交感神経および副交感神経活動の変化を評価します。

②気分の変化（質問紙による調査）

- ・主観的気分（快適度、落ち着き感、爽快感）の変化を測定するために、「快適な」「鎮静的な」「リラックスした」の3項目をVisual Analogue Scale（VAS）で回答してもらいます。なお、VASは質問に対して、「全く当てはまらない」から「全くそのとおりだ」のスケール上の任意の位置にチェックを入れて回答するものです。

- ・ Profile of Mood States 2nd Edition (POMS2)：研究対象者がおかれた条件により一時的な気分、感情の状態を測定するために使用される質問紙です。これを用いて天然だし喫食前後の気分を評価します。

4. 個人情報の取り扱い

個人情報は厳守されます。測定項目に関するデータは、研究責任者がデータ処理をした後は、匿名化されたデータ（個人情報を削除して誰のものかわからないデータ）として扱います。

5. 結果の公表

研究結果は、卒業論文や卒論論文発表会、関連学会や論文として公表します。研究結果から個人を特定されることはありません。

6. 保護者の方が、この研究への参加の取り止めを希望される場合には、令和6年3月31日までに研究責任者までお申し出ください。申し出たことにより不利益を受けることは一切ありません。

【問い合わせ先】

研究責任者

熊本県立大学環境共生学部食健康環境学専攻 教授 白土 英樹

Tel：096-321-6693（直通） E-mail：hideki-s@pu-kumamoto.ac.jp